

衛星データを用いて作成された植生指数（NDVI）マップなどを、KSAS上で確認できます。衛星データを活用した生育マップを利用することで、手軽に生育状態のバラつきを把握でき、追肥や除草を適切に行うことで、高品質な作物生産に役立ちます。

KSAS Marketplaceから「リモートセンシング」を追加するとメニューに表示されます。衛星画像を取得するためにはKSAS Marketplaceで**衛星チケットを購入する必要があります**。衛星チケットの購入は[こちら](https://marketplace.ksas.kubota.co.jp/app/growth-ticket) <https://marketplace.ksas.kubota.co.jp/app/growth-ticket>

1 ホーム画面

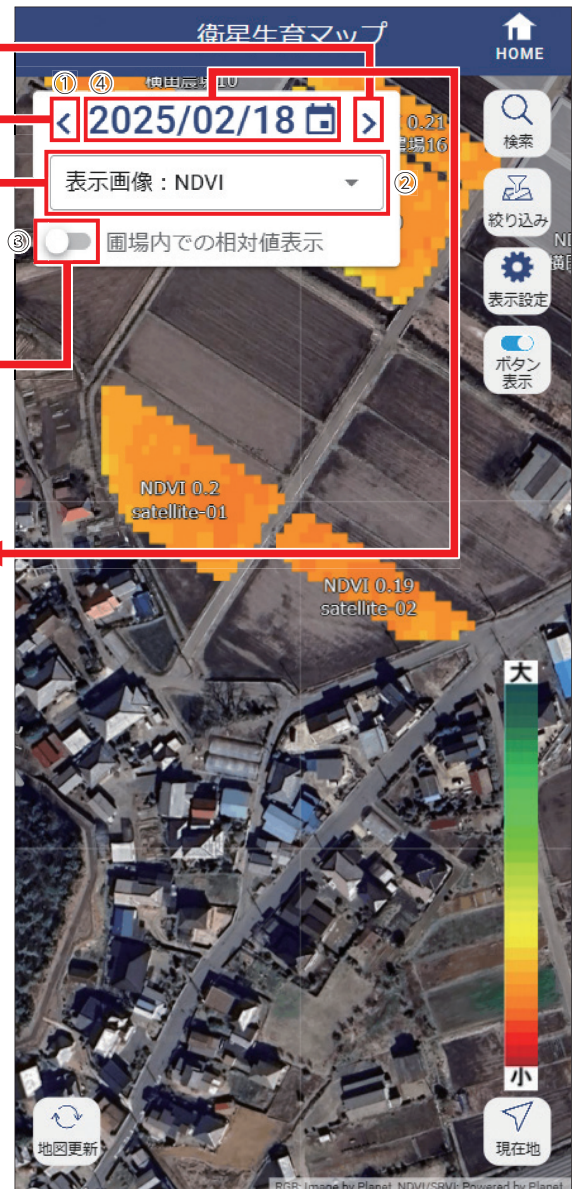


ホーム画面の「衛星生育マップ」をタップすると、衛星生育マップ画面が表示されます。

2 画面の説明

- ①日付を1日単位で変更することができます。
選択した日付けの衛星画像が地図上に表示されます。
- ②地図上に表示する衛星画像の種類を
「NDVI」、「SRVI」、「写真」から選択することができます。
- ③「圃場内での相対値表示」をONにすると衛星画像の色付けを圃場内の最大値・最小値に合わせて表示されます。
OFFの場合は、圃場間で比較可能な絶対値での表示になります。

- ④日付をタップするとカレンダーが表示され、日付をカレンダーから選択することができます。
カレンダー上ではPC版で「☆お気に入り」をつけた画像がある日付が黄色く表示されます。



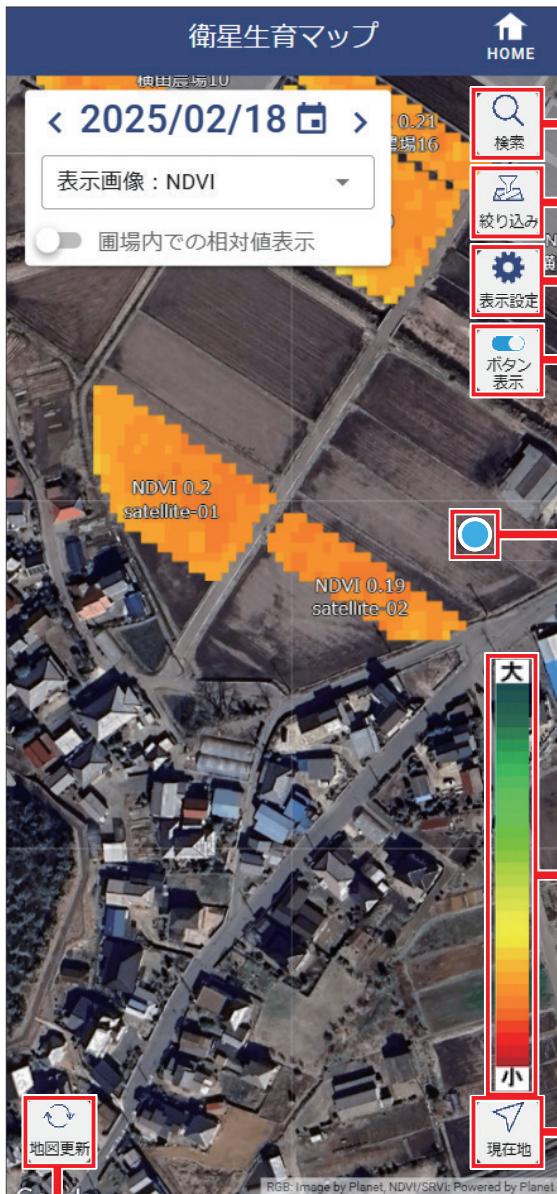
衛星画像の種類

それぞれの画像は以下のような特徴があります。

NDVI：生育の初期段階（幼形期以前）と登熟期以降の生育状況を確認することに適しています。

SRVI：生育の中期段階（幼形期から登熟期まで）の生育状況を確認することに適しています。

写 真：空撮写真を表示します。



- 検索 圃場名で圃場の検索ができます。
- 絞り込み 表示する圃場・衛星画像を絞り込むことができます。
- 表示設定 区画の上の表示する文字等を自由に選べます。
- ボタン表示 画面上のボタンの表示・非表示を切り替えることができます。

→ 端末のGPS情報を利用して、現在位置をリアルタイムに表示します。

→ 表示している衛星画像のカラーパターンです。

→ 端末のGPS情報を利用して、現在位置へ移動することができます。

地図上の中心座標から100件分の圃場とそれに対応した衛星画像を表示します。
地図を大きく動かしたら「地図」更新ボタンをタップし、再度圃場を表示させてください。